

英国のLPA



2021年8月



LPAとは

- * Lasting Power of Attorney (永続的委任状)
- * 英国で法的に有効な文書
- * 本人が認知症・事故・病気等で正常な判断が出来なくなつた場合、本人に代わって第三者が代理人として法的な契約事項等を執行出来る



LPAとは

LPAの種類

Health and welfare LPA	健康・福祉に関する事 毎日の洗濯・衣服・食事に関する事、医療処置、ケアホームへの引越し、生命維持処置等
Property and financial affairs LPA	不動産・金融等の資産管理に関する事 金融口座入出金管理、請求書・税金の支払い、年金・手当の受け取り、不動産・投資資産の管理・購入・売却等



LPAとは

LPAの仕組み

<p>代理人の指名</p>	<p>18歳以上、信頼の置ける人(複数でも可) (通常、配偶者・家族・親戚・友人・弁護士等の中から選ぶ) 代理人が死亡・病気・意識障害等で代理業務を執行出来ない場合の為に、予備のAttorneyを登録しておく事も可能</p>
<p>手続き・費用</p>	<p>Office of the Public Guardian(後見人登録事務所)に登録。登録費用£82 追加費用は掛かるものの弁護士に相談して作成してもらう事も可能 (費用は£200~£500)</p>
<p>有効期間</p>	<p>本人死亡で自動的に失効し、遺言書・Executor(相続執行人)が引継ぐ</p>



LPAとは

LPAとは

詳しくは、以下の終活ウェブサイトをご覧ください。

英国のLPA (Lasting Power of Attorney)

<http://shukatsuweb.net/lpa/uklpa>

LPA Q&A

<http://shukatsuweb.net/qa/lpaqa>



- Home
- 医療介護制度
- 不動産譲渡所得税
- 相続税
- 贈与税
- 遺言書
- 無遺言相続
- 信託
- 成年後
- 終末期医療事前指示書
- 老後の住まい
- マイナンバー制度
- エンディングノート
- エンディングサービス
- 死亡届
- 終活ビデオ
- 終活同好会活動報告
- 終活同好会メールマガジン
- ご意見・ご質問・ご要望
- サイト管理者専用ページ
- サイ

英国のLPA (LASTING POWER OF ATTORNEY)

Edit



英国では、本人が認知症や何らかの事故、又は心臓・脳の病気で昏睡状態が続いたりして正常な判断が出来ず本人に代わって例えば配偶者・家族でも銀行口座からお金を引き落としたり、不動産の売却、介護施設への入居が来ません。その様な場合、本人に代わってどなたかが代理人として事を進めるには裁判所で一定の手続きを踏む必要があり、その費用がかかります。





以 上

ここに掲載した情報は、2018年12月時点で最新、且つ正確を期する様最大限の注意を払っておりますが、皆様が実際に判断・行動される場合には、ご自身で確認されたり、専門家に相談される事をお勧めします。

